

岸和田防災キャラバンでアンケート実施。貴重な意見を聞くことができました。

防災・安全をスローガンとし 10 月 15 日に開かれた「防災・安全フィールドワーク・キャラバン in 泉南」へ、当 NPO は大阪府の総合計画課と共同で出展しました。キャラバンは岸和田カンカンベイサイドモール周辺で行われ、主催は大阪府と財大阪府消防協会泉南地区支部でした。

～当 NPO の当日の活動内容～

1. 当 NPO 紹介パネルの展示
2. 電線類地中化によって良くなった景観の紹介パネルの展示
3. 当 NPO の実績紹介パネルの展示
4. DDBOX 紹介パネルの展示
5. DDBOX 模型の展示
6. 阪神淡路大震災での電柱の危険性紹介パネルの展示
7. 書籍「電線のない街づくり」、「電柱のない街なみ効果」の紹介
8. 電線類地中化に関するアンケートの実施



～アンケート結果～

魅力ある都市景観にするためには？

電線や電話線を地下に埋める	20 票
道路上の放置自転車や張り紙、看板をなくす	16 票
屋上緑化や生垣、街路樹など緑を生かした街づくりをする	16 票

どこから地中化したいですか？

住宅地	18 票
観光地	16 票
生活道路	15 票

避難所までの道、不安なことは？

川・水路のそばを通らないといけない	10 票
倒れた電柱・切れた電線	13 票
橋・高架の崩落	5 票

上記のアンケートの結果から、市民の皆さんは災害の面や都市景観の面から、身近な所から電線類地中化を進めてほしいと感じていることが分かりました。通りかかった方たちと話して「電線がないと綺麗ですね。」や「倒れてくると危ないですね。」と話しかけられることも多く、このイベントを通して電線類地中化の重要性が改めて再確認できました。

大阪府の小河副知事もブースに立ち寄りいただき、電線類地中化の必要性を改めて説いておられました。

皆さんが日本の電柱・電線社会の現状について感じられていることをエッセイとして綴り、お送りください。本会報の【随想】欄に掲載させていただきます。

1000～1500 文字、簡単な自己紹介（お仕事、住所等）とポートレート（顔写真）を添えて下さい。送付先は E-Mail: info@NPONPC.org です。投稿をお待ちしています。

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 井上、志熊、根井、西川、西條

「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA～

第 39 号

発行日:2011 年 10 月 25 日(火)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

【活動報告】9 月 21 日理事会 (COM 計画研究所)

■技術開発委員会からの進捗報告

K 市は管路が輻輳しすぎているため、最も動かしやすいガス管の移設が必要になる。電力樹との取り合い部分に少し大きいスペースが必要なので、樹と DDBOX の間に U 字溝を改造したアダプター部を設けることで解決する方針。

■世論形成委員会からの進捗報告

11 月 16 日の東京セミナーを成功させる。異業種交流会は役割を終えたので、今後は書籍を活用し、本を題材としたセミナーを行う方針。

●東京セミナーについて

東京の大和ハウス工業で 11 月 16 日 18 時から開催。森理事に総合司会をお願いする。長谷川副理事長に挨拶を兼ねて「電柱のある街、ない街」のテーマで 25～30 分お話をいただく。小池百合子先生の講演は 1 時間。質疑応答を含め、トータル 2 時間を予定。

●理事長から提案

発送電分離議論について NPO として見解をまとめて発表してはどうか。発電と送電の分離と電線類地中化との関係を整理して安全な送電をアピールできればいい。

■事業協力委員会からの進捗報告

●T 市設計監理

10 月初旬～来年 3 月末。緑地帯に地上権を設定するなど、景観を意識した住宅地になる予定。

●O 市案件

進んでいないが今年度計画は消えていない。担当者が体調不良で動けない。

●F 市中心街地活性化(新案件)

古くなったアーケードを撤去し 300m を地中化。ファサードの統一、道路の再整備＋地中化工事。街のにぎわいを取り戻す。



NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 榊ジオリゾーム内 根井 井上

Mail: info@NPONPC.org <http://nponpc.org> Tel:072-653-5811 Fax: 072-653-5833

【特集】トランス地中化について

現在多くの場所で電線類の地中化が進んでいます。しかし、歩道には景観やバリアフリーを損ねる大きなトランスボックス【地上機器】が存在しています。

地上のトランスボックスは柱上変圧器と同じように、配電用変電所から送られてくる6,600ボルトの電気を100ボルト・200ボルトに変換する装置です。電柱の上に取り付けられている柱上変圧器やヒューズなどのさまざまな装置を一体化してコンパクトに1つの箱にまとめ、地上に設置しています。地中配電にはこの他に、高圧の引込開閉器や配電線の区分開閉器、連絡開閉器を1つの箱にまとめた「引込用開閉器」や「多回路開閉器」が設置されています。

トランスボックスが地上にある場合、水没の危険があります。2005年の台風14号の局地的な大雨が首都圏を直撃。河川が氾濫した杉並区、中野区では1500戸以上が床下・床上浸水しました。この時、杉並区内で5件のトランスボックスの水没被害が発生しました。その結果、周辺が停電し排水ポンプも止まってしまい、さらに浸水が増すという2次災害も引き起こしてしまいました。

こういった被害をなくすために、現在さまざまな技術開発が行われています。その1つがトランスボックスも電線と同様に地中化することです。防水構造とし、従来のトランスボックスより小型化したものが、実際に東京・渋谷センター街などに設置されています。しかし、まだまだ費用が高く、技術も発展途上です。

最近では小型化だけを行い街灯の上部にトランスを設置する例もあります。配電にかかせないトランスボックスを今後どのように地中化用に改良するかとともに、人々の邪魔にならない設置場所を早急に考えていかなければなりません。



トランスボックス



新型柱上トランスと街路灯
(国土交通省・松戸)

当 NPO ではメールマガジンも配信しており、電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！ぜひこちらにもご登録ください！

→ <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

【電柱の数を調査！】電柱は前年度より 83,491 本の増加！

	2009 年度	2010 年度
NTT 東日本	6,180,000	6,180,000
NTT 西日本	5,670,000	5,670,000
北海道電力	1,463,663	1,465,954
東北電力	3,015,293	3,027,207
東京電力	5,794,688	5,818,859
中部電力	2,737,185	2,747,525
北陸電力	591,564	593,391
関西電力	2,634,338	2,643,905
中国電力	1,611,793	1,617,951
四国電力	820,980	824,197
九州電力	2,346,443	2,358,528
沖縄電力	211,151	213,072
合計	33,077,098	33,160,589



当 NPO が全国の電力会社と NTT にヒアリングしたところ、2010年3月末現在の電柱の数は3316万589本で、**前年度より83,491本増えてしまいました**。かなり驚愕な数字だと思いませんか？電線類地中化を進めても、それを上回るスピードで電柱が立て続けられた場合、電柱が日本から無くなることはあり得なくなり、景観、災害、バリアフリーなど様々な面から障害が生まれてしまいます。こうなってきますと、法規制などの抜本的な対策を講じないと、追いつかなくなりますね。

当 NPO でも、より電線類地中化が推進されるために努力してまいります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます！

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事、見直してほしい事などがありましたら、

t.saijo0929@gmail.com まで気軽に連絡下さい！

会員の皆様で電線地中化の素晴らしさを広めていきましょう！！

当NPOのHP(ホームページ)でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！
<http://nponpc.org/top.aspx>

